

エリート情報

発行=(株)エリート情報社 **鹿島版**

●
287-0002佐原市北3-11-4
電話=0478-55-8621
FAX=0478-55-8623

毎月第1・3土曜日発行/(株)エリート情報社2005◎
URL=http://www.elite-joho.com Eメール=sawara@elite-joho.com

一万冊の蔵書を使い歴史を丁寧解説 歴史考房 回帰洞 元神職の矢作幸雄さんが開設

「歴史的なものの見方を身につけてほしい」と、鹿島神宮の元神職矢作幸雄さん(71)が、鹿島神宮前の自宅を開放し歴史考房「回帰洞(かいきどう)」を開いている。大学時代ヤマトタケルノミコトの

人物像について学ぶうちに歴史に興味を持ったという矢作さん。藤原鎌足や塚原ト伝など地元ゆかりのある人物の伝記をまとめるなど調査・執筆活動も続けている。読書家でもある矢作さんの蔵

書は、歴史関係の調査資料から趣味の小説まで約1万冊にもなるという。同所では、これらの蔵書から適切な資料が提示され、また、枝葉を広げながらやさしい言葉で歴史についての説明が受けられる。といっても、そんなに堅苦しく構える必要はない。神職時代には、小学一年生の素朴でありながら核心をついた質問にも答えて来たと言う。身近なものの名前の由来から、専門的な範囲に至るまで幅広く対応してくれ

現代に危機感を覚えている。歴史へのちよっとした興味を拾い取り、資料を提供することで次への興味を呼び起こしたいと考えている。

また、「ここでは、いきいき人生相談 龍乃御卜處(りゅうのみうらどころ)」も開いている。「子育てや進路など、人生に迷いを感したり悩みを抱えてしまったりした時、気軽に相談にきてほしい」と矢作さん。

大洗磯前神社で5年、鹿島神宮で37年、筑波山神社で3年の計45年、神職を務めた神社には、さまざま悩みを抱えた人が相談にやってきました。

また、県内の刑務所や少年院に出向き、受刑者や少年達の更生のための面接や講話を行う教誨師も現在まで22年間務めている(現・茨城県教誨師会会長。これらの経験に自らの体験を加え、相談に当たる。

同所がこの7月に発行した回帰洞通信1号では、「ガマン

教育「一歩前へ」と題し、ガマンを知らない子ども達とそれを教えようという親の増加を嘆いている。また、少年院に入っている少年達を見ていると、ガマンについての教育を大人達から受けていたならば、彼らの人生も違ったものになったのではと、考えずにはいられないともつづらられている。選曆を迎えて初めて、言いたいことが言えるようになり、その言葉を受け入れてもらえるようになった。その頃から「仕事を離れても、ちよっとずつでも世の中の方向を良い方へ向ける手伝いをしよう。体は衰えるが、頭でなら考え出すことができる。」そう思い続けて来た。「世の中を正し、こういう生き方はどうか」というアドバイスしていきたい」と穏やかに今後の意欲をみせた。



「お子さんから大人までお気軽にお越し下さい」とのこと。開所時間はAM10時からPM5時まで

神職の経験を生かした人生相談も

同所がこの7月に発行した回帰洞通信1号では、「ガマン

開所日は、月20日程度で、詳しい開所日は、看板横のボードに書かれています。また、人生相談希望の人は、事前に連絡を、問い合わせは、☎0299(82)2093 同所へ。